



広報 常陸大宮

2022
11
No.218

主な内容

- P2~3 市内のイルミネーションを見に行こう!
- P4 移住体験ツアー「つながるローカル 農業・職人編」
- P5 寒くなるこれからの季節 -家庭でできる水道の凍結対策-
- P6~7 「障がい」を知ろう -障がいの種類と助成制度のご紹介-

常陸大宮で 市内のイルミネーション



約 3 万球のイルミネーションが駅前を暖かく照らす きらきらタウン☆ひたちおおみや

(点灯期間:令和4年11月26日～令和5年2月28日)

※写真は平成29年に撮影されたものです。

平成 25 年から「常陸大宮駅前をおしゃれにきらきらさせちゃおう!」という市民有志 12 名による取り組みです。約 3 万球のイルミネーションが駅前を賑やかに彩り、点灯期間初日の 11 月 26 日には、3 年ぶりに点灯式も開催されます。

事務局代表の西村さんは「市に元気と賑わいを取り戻すため今後も継続して実施していきたい。また、歩いて出かけたくなるエリアを目指したい」と思いを聞かせてくれました。



▲駅前時計台はブルーにライトアップ。

点灯式に合わせイベントも開催

点灯式に合わせ、常陸大宮駅前ではキッチンカーでの飲食提供、中学生以下のお菓子つかみどりなどを行う「ヨイチ」が、山方宿駅では屋台出店や山方中学校吹奏楽部などのミニライブが行われる「夜市」が開催!



▲常陸大宮駅「ヨイチ」



▲山方宿駅「夜市」

感じる冬

ヨンを見に行こう！

久慈川をイメージした一面の青に駅前が染まる

きらきらステーション 山方宿駅

(点灯期間:令和4年11月27日～令和5年2月28日)

山方宿駅前や神奉地公園にクリスマスツリーをイメージしたイルミネーションや、久慈川をイメージしたブルーのライトが広がります。一昨年はリモートで行われた点灯式も、今年は現地で開催。

「自分の親世代が「あゆの里まつり」を始めたように、今度は自分たちの世代で地元を元気にしようと始めたのがきっかけ」と話すのは実行委員会代表の木村さん。今後も、毎年少しずつ変化を加えながら、成長していきたいと語ってくれました。

駅前以外でも！まちなかイルミネーション



▲神奉地公園にはクリスマスツリーをイメージしたイルミネーションが。



第5回 ロマンチック小場 イルミネーション

(点灯期間:令和4年11月27日～令和5年1月29日)



大宮聖愛保育園

(点灯期間:令和4年12月1日(予定)～令和5年1月3日)

今年度第2弾は市外の方々が農業と職人技を体験！

移住体験ツアー「つながるローカル 農業・職人編」

10月7日から9日の2泊3日で移住体験ツアー「つながるローカル 農業・職人編」を開催しました。移住を検討している方や田舎暮らしなどに関心のある人に、常陸大宮市での生活を体験していただくツアーで、今年度は8月に続いて2回目の開催です。今回は東京都や群馬県などにお住まいの9名が参加されました。

1日目

トマトの収穫体験と食べ比べ（協力：雅農園）
ブルーベリー農園見学（協力：ブルーベリーフレンドファーム）



▲ハウス内での栽培方法や豊富なトマトの種類に興味津々の参加者。トマトの食べ比べでは「甘い!」「種類によって味が全然違う」と驚きの声が上がりました。



▲ブルーベリー農園では、雨天によりテラスからの農園見学となりましたが、美味しいスイーツもいただき、農業を始めるための「準備の大切さ」など、貴重なお話を伺いました。

2日目

サツマイモ＆ニンジン収穫体験（協力：コトコトファーム）
陶芸体験（協力：山王窯）



▲サツマイモとニンジン収穫体験！ニンジンの間引き体験では、皆さん、ついつい多めに採ってしまったようです。多品目を扱う農園での体験は、1日目とはまた違う農業体験となりました。



▲開窯している職人から成形の方法を教わり、思い思いの陶芸作品を制作。「イメージ通りの形にならない」といった声もありましたが、個性豊かな作品が仕上がりました。

3日目

住宅見学・住宅セミナー
（協力：株式会社ノーブルホーム）



▲「住まい」のイメージを持っていただくために、ハウスメーカーの視点から「常陸大宮市」での暮らしについてお話を伺いました。

参加者からは、「農業をやりたい気持ちが高まった」「二拠点居住や週末農業に興味がある」「皆さん、笑顔が素敵だった」などの感想をいただきました。

今後も、移住を検討している方と常陸大宮市をつなぐ取組を行っていきます。

寒くなるこれからの季節 — 家庭で簡単にできる水道の凍結対策 —

寒さが厳しくなってくると、水道管や水道メーター等が凍結し、水が出なくなったり、破裂したりすることがあります。特に気温がマイナス4度以下になると凍結しやすくなります。凍結による漏水や水道管破裂を防ぐ方法や凍結したときの対応、緊急時の対応についてご紹介します。ぜひ実践してみてください。

凍結を防ぐ方法

◆露出している水道管や蛇口を保温

水道管や蛇口に布や発泡スチロールなどの保温材を巻き付け、水に濡れて凍らないように、その上から隙間なくビニールテープ等でしっかり巻いてください。

◆メーターボックス内を保温

右写真のように布や発泡スチロールなどの保温材をビニール袋につめて、メーターボックスの中に入れてください。

※検針の際に取り出しやすいように、小袋に分けて入れてください。



凍結したときの対応

◆ぬるま湯をかける

凍った部分にタオルや布をかぶせ、ぬるま湯をゆっくりとかけて溶かしてください。熱湯をかけると、水道管が破裂する恐れがあります。



ぬるま湯を
かける

漏水の点検方法

- ①家庭内の水道の蛇口を全部閉める。
 - ②メーターボックス内 水道メーターのパイロット (下写真の丸い部分) を確認。
- 止まっている：漏水していません
動いている：漏水の可能性がありますが



水道管破裂の際は市指定給水装置工事業者へ修理を依頼してください

お住まいの地域の市指定業者の確認は、右の二次元コードを読み取ってホームページをご覧ください。下記の問い合わせ先にお電話ください。



■問い合わせ■ 水道お客さまセンター 電話：52-0427

▲市指定業者照会Web
ページはこちらから

— 水は限りある資源です。大切に使いましょう —

「障がい」を知ろう ― 障がいの種類と助成制度のご紹介 ―

国民の間に広く障がい者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障がい者が社会・経済・文化など、あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的に設定されている「障害者週間」。この機会に、障がい者に対する理解を深めませんか。

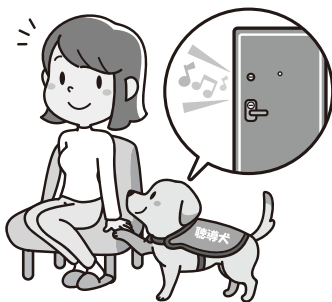
◆障がいの種類

障がいは、目に見えて状況がわかるものだけではありません。障がいの種類を知っておくことで適切な配慮につながります。



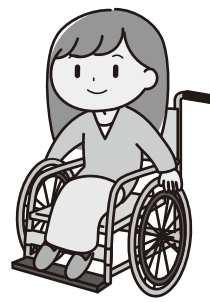
視覚障がい

視力の矯正をしても全く見えなかったり、文字がぼやけて見えなかったりする障がいです。視野が狭くなってしまう視野障がいもあります。



聴覚障がい

音が聞こえづらくなったり、会話を聞き取ることが難しくなる障がいです。



肢体不自由

腕や足が動かしにくくなり、歩行や筆記などの日常生活動作が困難になります。



内部障がい

心臓やじん臓などの内臓の機能が弱まり、つかれやすくなります。



知的障がい

発達期までに知的機能の障がいが見られ、社会生活に適應する能力に制限がかかります。



精神障がい

脳の働きの変化で、思考・感情・行動に障がいが生じ、「生活のしづらさ」が生まれてくるものです。日常生活や社会参加が困難になる障がいです。



発達障害

生まれつきの脳の発達の偏りにより、得意・不得意の特性などから、社会生活に困難が発生する障がいです。



高次脳機能障害

怪我や病気により、脳の一部が損傷し、思考や言語などの脳機能に不自由が生じます。

◆利用できる福祉制度

各種障害者手帳をお持ちの方が利用できる制度には、次のようなものがあります。ここで紹介しているものは一部です。所得や障がいの程度・種類などによって、対象とならない場合もあります。詳しい対象要件や事業内容は、市役所社会福祉課へお問い合わせください。



【補装具の交付・修理】

体の不自由な部分を補う補装具の交付・修理に係る費用の一部を助成します。

【日常生活用具の給付・貸与】

自立した生活を支援・実現するための用具(ストマ用装具・特殊寝台等)の給付・貸与に係る費用の一部を助成します。

【各種手当】

特別障害者手当、特別児童扶養手当など、重度の障がいのため必要となる精神的、物質的な特別の負担の軽減を図るために各種手当が支給されます。

【ヘルプマーク・ヘルプカード】

外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方が、周囲に配慮を必要としていると知らせることで、援助を受けやすくするために、ヘルプマーク及びヘルプカードを配布しています。



【障害福祉サービス】

障がいのある方のそれぞれの障がい程度や居住などの状況をふまえ、地域の中で生活を続けていけるよう、移動の介護や家事援助、施設入所などの支援を受けられるサービスです。

【障害児通所支援サービス】

障がいがあったり発達に心配がある児童に療育を提供する事業です。日常生活における基本的な動作の指導や、集団生活への適応訓練などの支援をおこなうサービスです。

【地域生活支援事業】

障がいのある方が、自立した日常生活や社会生活を送れるよう支援をする事業です。自宅にて機械浴を行う訪問入浴や、聴覚障がいなどにより意思疎通に支障がある方とその他の人の意思疎通を仲介するために、手話通訳や要約筆記、点訳等を行う者の派遣などを行う事業などがあります。



●「障害」の表記について●

心のバリアフリーを推進するために、「障害」の「害」の字の表記について、固有名詞などを除き、可能な部分は「障がい」の表記をしています。

10/6

第44回地域安全茨城県民大会

第44回地域安全茨城県民大会が、ザ・ヒロサワ・シティ会館で開催され、日頃から継続した防犯活動に取り組まれている方々が受賞されました。

- 全国防犯協会連合会表彰 防犯荣誉銀章
美和防犯連絡協議会 成井 文夫さん
- 関東防犯協会連絡協議会表彰 防犯功労団体
大宮防犯連絡協議会 大宮第1分会
- 茨城県防犯協会表彰 地域安全功労者
御前山防犯連絡協議会 長倉分会 稲毛 洋規さん
- 茨城県防犯協会表彰 地域安全ボランティア団体
常陸大宮市 PTA 連絡協議会
- 茨城県防犯協会表彰 優良防犯連絡員
小林 一男さん（大宮） 岡崎 三喜雄さん（美和）
森嶋 良平さん（緒川） 富田 優さん（御前山）



▲（左から）美和防犯連絡協議会 成井さん、大宮防犯連絡協議会 大宮第1分会 丸山裕健さん ▲常陸大宮市PTA連絡協議会 横山孝浩さん

10/8

長倉城跡草刈り ボランティア作業

御前山地域の蒼泉寺近くにある長倉城跡で、ボランティアによる草刈り作業がおこなわれました。

長倉城は佐竹一族である長倉氏の山城で、長い年月が過ぎた現在でも地元のシンボルとして大きな存在となっています。

草刈機などを持参して集まり、訪れる方々に少しでもよい景観を楽しんでもらおうと蒼泉寺から城跡までの山道と頂上にある主郭の土塁周辺の草刈りをしました。



▲ボランティア活動に参加した皆さん

10/12

秋の全国地域安全運動に合わせ 街頭キャンペーンを実施

秋の全国地域安全運動（10月11日～10月20日）に合わせ、道の駅みわ 北斗星で、街頭キャンペーンが行われました。

大宮警察署、美和防犯連絡協議会、茨城県防犯協会女性部、大宮地区セーフティマイタウンチーム、大宮地区少年指導委員、大宮安全安心支援隊が参加して、買い物等に来店された方へ、チラシや啓発グッズを配布しながら、ニセ電話詐欺や住宅侵入窃盗などの防犯を呼びかけました。



▲街頭キャンペーンの様子

10/16

市内一斉クリーン作戦

市内の道路の一斉クリーン作戦を実施しました。

ごみのない清潔で住みよいまちづくりをめざして、各地区の環境保全推進委員（副区長）を中心に、地域住民約9,100人が道路の空き缶やペットボトル、紙くずなどのごみを回収しました。

可燃ごみ1,750kg、不燃ごみ1,120kg、テレビ、冷蔵庫、タイヤなどの粗大ごみが回収されました。



▲ご協力、ありがとうございました。

10/18

令和4年度 県北地域雇用問題懇談会

常陸大宮市文化センターロゼホールで、「令和4年度県北地域雇用問題懇談会」を開催しました。ハローワーク常陸大宮が懇談会を主催し、ハローワーク常陸大宮管内の自治体3市町、高等学校7校、産業団体6団体が参加しました。

新卒及び若年者と高齢者等の雇用に係る問題について、各企業からのアンケート結果や意見等を発表した上で、意見交換を行いました。

今後、懇談会参加団体で連携し、高齢者向け面接会を行う予定です。



▲懇談会の様子

10/21

常陸大宮大使 寺門由紀さんデザインのマンホール蓋を設置

常陸大宮大使で画家の寺門由紀さんがデザインしたマンホール蓋を市役所、常陸大宮市文化センターロゼホールに設置しました。寺門さんの優しくかわいいタッチが生きたデザインとなっていますので、ぜひご覧ください。



▲ロゼホールには寺門さん書き下ろしデザインのマンホール蓋2種を設置しました。



▲設置記念として、寺門由紀さんにもお越しいただきました。市役所前にはひたまるを用いたデザインのマンホール蓋を設置しています。

善意

をありがとう 〈奨学基金・善意銀行へ〉



瑞穂農場様 100万円

10/1・10
22・29

小学生かけっこ教室 開催

市内小学生を対象に「小学生かけっこ教室」を開催しました。今回は、短距離・長距離に分かれ、それぞれ走り方や走るポイントを、常陸大宮市陸上競技協会のみなさんの手厚い指導のもと、楽しみながら真剣に学びました。また、最終日には、記録会が行われ、練習の成果が十分に感じられた教室となりました。



▲50m走記録会の様子

10/25

大賀小 パラオ共和国小学生と オンライン文化交流

大賀小学校6年生15人がパラオ共和国のガラスマオ小学校3・4年生4人と、お互いの生活や文化をテーマにオンラインで交流しました。

大賀小学校の児童の皆さんは、日本の伝統衣装の浴衣を着たり、日本の観光名所の写真を用意し、英語でやりとりしながら日本の良さを一生懸命伝えていました。



▲浴衣を着てパラオ共和国の小学生に説明する様子

環境インフォメーション

猫は屋内で飼いましょう！

屋外は猫にとって危険がいっぱいです。また、糞尿やいたずらなどで近隣とのトラブルになることもあります。このような危険やトラブルを避けるために、猫は屋内で飼いましょう。

快適に屋内で過ごさせてあげるために飼い主さんができる準備

●トイレ

一日一回以上掃除して清潔に保ち、猫の数より一つ多めに用意するといいいでしょう。

●つめとぎ

猫はつめをといで、マーキングやストレス発散をする習性があります。家具や柱でつめをとがないように、専用のつめとぎを用意してあげましょう。

●遊具

猫は上下運動を好みます。猫用のキャットタワーを用意したり、家具を階段状に配置したりして、高いところに昇り降りできるようにしましょう。

●くつろげる場所・隠れる場所

猫は狭いところが大好きです。体がすっぽり入る程度のハウスにタオルなどを敷きます。リラックスできる場所を作ってあげましょう。また、猫は臆病な動物なので、驚いた時に逃げ込めるスペースを用意しましょう。

●名札・マイクロチップ

万が一外へ出てしまった場合や緊急災害時のために、名札、マイクロチップ等の飼い主の明示をしましょう。

●低カロリーの食事

運動量の減少や、不妊去勢手術による代謝の変化からの肥満を予防しましょう。

■問い合わせ■ 生活環境課 生活環境グループ 電話：52-1111(内線114)

歴史を伝える資料2件を市有形文化財指定

市教育委員会では、貴重な文化財の保存と活用を目的として、文化財の指定を行っています。令和4年8月31日、新たに2件を市有形文化財に指定しましたので報告します。

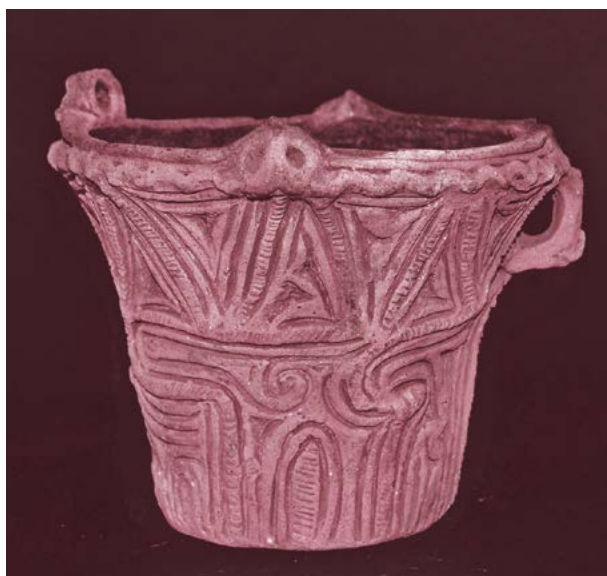
北陸地方との交流を示す貴重な資料

坪井上遺跡第182号土坑出土土器(火炎土器)

今回有形文化財に指定された土器は、火炎土器と呼ばれる燃え上がる炎をかたどったかのような独特なデザインの土器です。新潟県魚沼地方の土器と素材や作り方が共通しており、北陸地方から運ばれたものが、ほぼ完全な状態で出土した珍しい事例です。

下村田地区の坪井上遺跡では、25年前、ショッピングセンター建設に伴って発掘調査が行われ、縄文時代中期の大集落が確認されました。この土器は、この発掘調査の際に発見されたものです。

坪井上遺跡では新潟県糸魚川流域原産のヒスイで作られた大珠が8点出土していることもあり、縄文時代の常陸大宮地域と北陸地方の交流の様子を伝える資料として注目されています。



上岩瀬で生まれた浄土宗の名僧 通称「六夜さん」

木造聖岡上人坐像

上岩瀬地区の誕生寺で所蔵する、了譽聖岡上人の坐像を指定しました。

了譽聖岡上人は、南北朝時代に現在の常陸大宮市上岩瀬に生まれ、修行を積んで那珂市瓜連の常福寺を継いだ浄土宗の名僧で、額にあった三日月形から「二十六夜尊」、通称「六夜さん」として知られています。現在でも、学問の仏様として崇敬を集めており、毎年10月ごろに常福寺で行われる祭礼は多くの人で賑わいます。

この坐像は、常陸大宮市を代表する歴史上の人物の彫像であり、江戸時代に盛んになった二十六夜尊信仰を物語る貴重な資料として、文化財指定されたものです。



1年目・本田真美

9月から少しずつ和ハーブと伝統野菜の畑づくりを始めています！秋まきの種は大体まき終わり、成長を見守っているところです。

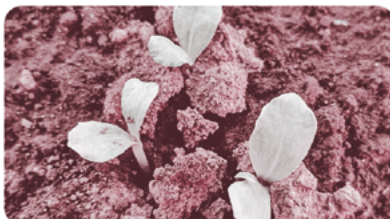
現在、和ハーブでは「ニホンハッカ」や「イブキジャコウソウ」、伝統野菜では「盛岡山東菜」や「貝地高菜」などを栽培しています。

収穫できるようになったらこれらの作物を活用した料理イベントを行いたいと考えております。特定の地域でしか栽培されていないため、普段あまり見かけることのない珍しい伝統野菜と、古くから我々と共にあったのに、時代と共に忘れ去られつつある和ハーブたち。

料理イベントを通して、実際に触れて味わうことで、より身近に感じてもらえるのではないかと期待しています。



▲畑づくり、ここまで進みました！



▲「ベニバナ」発芽しました



▲「かつを菜」の様子伺い

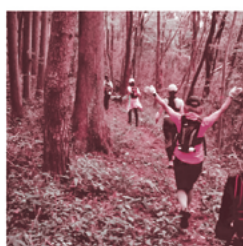
2年目・谷部文香



▲写真撮影中の谷部

9月から開始の「取材協力者募集」という企画を通して、取材に行ってきました。現在記事を執筆中です。公開後は、協力隊SNSなどでお知らせをしますので、楽しみに！

2年目・吉川勝



▲トレラン体験会の様子

10月15日（土）に、山道を走る「トレイルランニング」の体験会を実施しました。今後も市民の皆さんがトレイルランニングを楽しめる機会を考えていきたいと思っています。

2年目・星野由季菜



▲授業の様子

茨城県立小瀬高校の授業「未来創生学」をサポート中です。学生が関心のあるテーマ深められるように、知見のある社会人とつなぐ役割を担っています。



SNSも見てね



協力隊 活動報告～Vol.61～ 【お問い合わせ】 電話⇨0295-52-1111（地域創生課地域おこし協力隊）
デザイン・編集 谷部文香 メール⇨sousei@city.hitachiomiya.lg.jp



「うちのうち、よそはよそ」の家例

子どもの頃、親に「うちのうち、よそはよそ」と言われたことはありませんか？あるいは大きくなってから、家で当たり前と思っていたことが、他の家ではしていないと知り、ショックを受けたことは？そんな「うちのうち、よそはよそ」と言われていることのなかでも特定の家や一族だけで守られているしきたりを、家例と言います。

常陸大宮市内で聞き書きをすると、色んな家例を教えてもらいます。作物ならばキュウリ、トウモロコシ、ショウガをつくってはいけないという特定の作物の栽培を禁忌とする家例。動物ならば白いものは飼ってはいけないという家もありました。

今ではこの家例を厳しく守る意識は薄れつつありますが、聞けば聞くほど面白い家例があります。例えば、「天狗党の乱の頃、逃走する天狗党の一人が畑で斬られた。その血が赤かったので、うちの畑では赤い実をつけるソバは作らない」という家があります。

他に「正月の2日に芋串を作ってはいけない」という家もあります。あの美味しい芋串を正月に1日でも食べられないなんて…と思いますが、抜け道があります。なんとその家の近くには正月の3日に芋串を作ってはいけない家があり、正月の2日と3日には、それぞれの日に作って良い家が多めに芋串を作り、作ってはいけない家にお裾分けをするのだそうです。



▲芋串（平成31年(2019)久慈岡のワーホイにて撮影）



民俗部会 専門調査員
渡瀬 綾乃（千葉県立中央博物館）

作物の禁忌も、作ってはいけないが貰うのは良いという家が多く、近所の家も「あの家はショウガを作れないから持って行こう」とお互いの家例を把握してお裾分けをしていることを多く聞きました。

作物や食物、動物禁忌の家例は、本家から分かれた分家も継承することが多く、当人が由来を忘れてしまっても家のルーツに繋がるものもあります。正月はこう、お盆はこう過ごすというように行事が統一されていくなかで、逆にその家の特色を示す旧慣が「うちのうち、よそはよそ」で家例として残る。そんな家例が、近所同士のお裾分けという抜け道で融通を利かせながら今の私たちまで続いてきたのだと思うと、人の暮らしの奥深さを感じます。

さて、この市史編さんだよりを読んだ皆さん。
あなたの家の家例はなんですか？

■問い合わせ■

文化スポーツ課 文化振興グループ
電話:52-1111(内線343)

食改さんのおすすめレシピを隔月で紹介しています。今月は寒い時期におすすめの煮込み料理です。



香味野菜のセロリやこしょうを効かせることで薄味でもおいしく食べられるような一品となっています。

鶏肉と野菜のデミソース煮込み

栄養成分(1人分)

エネルギー	食塩相当量
246kcal	1.7 g

《材料》1人分

鶏もも肉	50g
小麦粉	2g (小さじ1/2)
玉ねぎ	30g
セロリ	15g
にんじん	30g
じゃがいも	40g
油	4g (小さじ1)
水	100cc (1/2カップ)
ハヤシルー	13g
こしょう	少々
さやいんげん	3g

A	塩	少々 (0.2g)
	こしょう	少々

《作り方》

- ①鶏肉は2～3等分してAで下味をつけ、小麦粉をふる。
- ②玉ねぎは薄切り、セロリは斜め薄切り、にんじんとじゃがいもはいちょう切りにする。
- ③フライパンで油を温め、鶏肉を皮目から焼く。きつね色になったら返し、色が変わったら取り出す。
- ④③のフライパンで②を炒める。玉ねぎが透き通ってきたら鶏肉を戻す。
- ⑤水を加えて蓋をし、弱めの中火で5分加熱する。ハヤシルーを加えてさらに5～10分程度加熱し、こしょうをふる。
- ⑥さやいんげんをさっと茹でて半分に切る。
- ⑦⑤を器に盛り、さやいんげんを添える。

「患者中心の医療」と当院の役割



常陸大宮済生会病院
内科医員 田淵 司

こんにちは。今回は「患者中心の医療」についてお話しします。病院、診療所、在宅など様々な場で医療は提供される時代となりました。高齢化も進んでいます。その中で、医療の在り方も複雑多様になっています。「患者中心の医療」は、より良い医療を提供するための一つの方法です。「患者中心の医療」は、以下の4つの要素で構成されます。

1. 健康、疾患、病いの経験を探る
2. 全人的に理解する
3. 共通の理解基盤を見出す
4. 患者－医師関係を強化する

では、具体的に見ていきましょう。

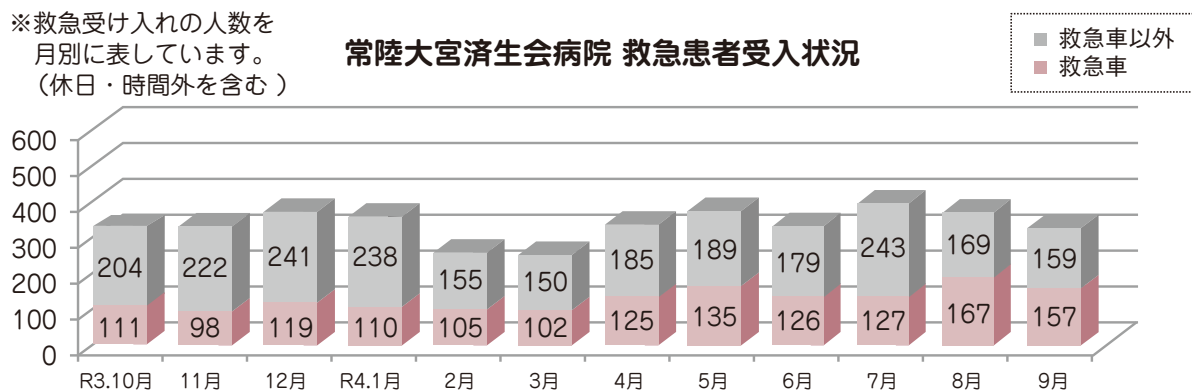
医師は、1. 患者が置かれている社会的状況や、患者自身がどのように解釈しているかを探ります。2. それらを統合的に考え、患者を全人的に理解することを試みます。3. 共通の理解基盤として、治療の必要性や治療の目的、目標を見出していきます。4. 外来通院や入院中の患者、家族との対話を通じて、患者－医師関係、すなわち、お互いを尊重する姿勢や信頼関係を強化していきます。以上が「患者中心の医療」の考え方です。

ここからは、当院で「患者中心の医療」が実践されてきたことの説明をします。私が当院に赴任して良いなと思ったのは、引き継いだ患者さんのカルテに生活社会歴（飲酒、喫煙、趣味、家族構成、職業、食生活、運動習慣、介護サービス利用状況など）が充実していたことです。これは前任の医師達が、目の前の医学的問題（血圧が高い、胃が痛い、等）の解決だけでなく、患者さんの内面や価値観まで把握を試み、生活していく上での根本的な解決を図ろうとしてきたことの現れであると感じています。

救急指定病院でありながら、地域に根ざした基幹病院として、周辺住民の方々を支えてきた歴史、取り組みが伺えました。同時に、皆さんの今後の健康を担っていく責任を実感することもあります。日々の診療の中で、医学的なゴールの追求だけでなく、一人一人の患者さんにとって本当に良い医療とは何かを自問自答しています。「この病院に出会えて良かったな」と思っていたら幸いです。今後とも、どうぞよろしくお願いします。

※救急受け入れの人数を
月別に表しています。
（休日・時間外を含む）

常陸大宮済生会病院 救急患者受入状況



野口の廃寺 蓮覚寺

常陸大宮市域には、かつて多くの寺院がありました。江戸時代前期の寛文年間(1661～1673)の時点で、常陸大宮市域には少なくとも200を超える寺院が存在したことがわかっています。しかし、徳川光圀や徳川斉昭が実施した寺社改革や、明治初期の廃仏毀釈によって、寺院の多くがその姿を失いました。現在は、地名やわずかな史料、伝承からその痕跡を伺うことができますが、その実態については不明なことが多いです。今回は、その中から、野口地区にかつて存在した蓮覚寺について紹介していきます。

◇蓮覚寺の創立と歴史

金剛山密蔵院蓮覚寺は、野口字内原(『新編常陸国誌』では字内古屋)に所在した真言宗の寺院です。江戸末期に作成された村絵図によると、時雍館(絵図では「学館」)の敷地内に「元蓮覚寺」と記されていることから、旧野口小学校(現在は教育支援センター)の場所に寺院があったと推定できます。その由緒は古く、大同元年(806)に讃岐国の僧・玄海が佐伯神社の別当として蓮覚寺を建立したと伝わっており、これは由緒を持つ常陸大宮市内の寺院(廃寺含む)では最も古い部類となります。蓮覚寺が初めて記録に登場するのは文明6年(1474)のことで、鹿島神社(那賀地区)に奉納された棟札の裏に「別当野口村 蓮覚寺」と記されています。鹿島神社に棟札を奉納した大旦那「源義照」は佐竹氏一族・長倉氏に推定される人物であり、蓮覚寺はこの頃すでに佐竹氏の影響下に置かれていたものと考えられます。同寺の周辺には妙浄坊・法浄坊・蓮浄坊・慶蓮寺など多くの門徒や末寺が存在しており、佐竹氏による庇護の下で繁栄していた様子がうかがえます。



画像1 蓮覚寺跡地(野口地区)



画像2 江戸時代の蓮覚寺跡(当館蔵)

ところが、慶長7年(1602)に火災で建物や書類等が全焼し、蓮覚寺は一転して存続の危機を迎えます。佐伯神社の由緒書によると、火災の後、岩崎村(現在の常陸大宮市岩崎)徳乗院の鏡舞上人が徳川家康に寺院存続を直訴し、翌年の検地で寺領を与えられたことが記されています。しかし、徳川光圀による寺社改革で破却を命じられ、元禄11年(1698)に廃寺となりました。

◇蓮覚寺を訪れた京都の僧

蓮覚寺が有力な寺院であったと推測できる史料に、「堯雅僧正関東下向記録」(醍醐寺三寶院蔵)と「堯雅僧正関東下向印可授与記」(醍醐寺史料)が存在します。これは、醍醐寺の子院である無量寿院(京都府京都市)の僧・堯雅が東国の諸寺院を巡回して付法(弟子に教法を授けること)を行った記録であり、元龜2年(1571)10月8日に蓮覚寺を訪れたことが記されています。堯雅はおおよそ数週間、蓮覚寺を拠点に付法を行ったと考えられ、同寺の僧だけでなく、妙浄坊・法浄坊・蓮浄坊といった蓮覚寺門徒や、長倉・部垂など周辺地域の真言宗門徒にも印可を授けました。真言宗醍醐派総本山に属する僧が東国における滞在先の1つとして蓮覚寺を選択したことに、蓮覚寺の隆盛をうかがうことができます。

【参考文献】

- ・御前山村郷土誌編纂委員会編『御前山村郷土誌』平成2年
- ・福島県編『福島県史 第7巻 資料編2 古代・中世資料』昭和41年

(高橋拓也)

■問い合わせ■

文書館 ☎52-0571



救急車の適正な利用をお願いします

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、救急車の受け入れ先を見つけるまでに長時間を要することで救急車の不足も深刻化しています。緊急性がなく明らかな軽症での救急車の利用により、生命に危険がある重症者のもとへ救急隊員が向かうことができない事態にもなりかねません。119番通報をする前に、「本当に緊急なのか」「救急車が必要なのか」、一度落ち着いて考えてみましょう。医療が「限られた資源」であることを理解し、救急車の適正利用にご協力をお願いします。

その119番
本当に緊急ですか？



こんな救急車の利用はNG! - 救急車不適正利用例 -

下記のような考えで救急車を利用することは避けましょう。緊急性がなく体調が優れないときは、自家用車や交通機関などを利用しての医療機関受診をお願いします。緊急性の高い傷病者にとって、1分1秒が傷病者の今後の日常生活に大きく関わってくる可能性がありますので、救急車を適正に利用しましょう。

救急車は無料だから



優先的に診てもらえる



夜間・休日の診療時間外だった



【実際にあった緊急性が低かった事例】

(出典：総務省消防庁HP 救急車の適時・適切な利用(適正利用)小冊子)

- ・昨日から鼻をかむことでの鼻出血で救急要請
- ・調理中に指先を切り救急要請
- ・入歯を飲み込み、咳・吐き気などないが救急要請

総務省消防庁ホームページでは、救急車の適時・適切な利用の詳しい紹介がありますので、ぜひ右の二次元コードを読み取ってご覧ください。



**救急車を本当に必要とする人のために、
皆様のご理解とご協力をお願いします**



御前山ビオトープ周辺の植物等

沼や休耕田などに生える大形の多年草です。茎はまっすぐに伸びてその先に花穂をつけます。下部の太い円柱形の部分がめす花穂で、そのすぐ上に接しているのがおす花穂です。ガマの花粉は漢方では傷薬として使われます。皮をはがれた「因幡の白兎」がくるまったのはめす花穂の穂綿ではなく、花粉のあるおす花穂だったのです。



(ガマ科 ガマ属)
(写真・データ提供 御前山ダム環境センター)

Instagram Photo gallery

Instagramで「#常陸大宮市」「#常陸大宮」「#おおみやファン」のタグで投稿された素敵な写真をご紹介します！



@suigunline_327さん撮影
【水郡線 常陸大宮駅～玉川村駅間】



@frasco.co.jpさん撮影
【移住体験ツアー「つながるローカル」】
ツアーレポートは本紙4ページをチェック！

常陸大宮市公式Instagramでは、リポスト・広報紙掲載企画実施中！

市内の風景、イベント、何気ない日常など、ハッシュタグ「#常陸大宮市」「#常陸大宮」「#おおみやファン」いずれかを付けて投稿すると、市Instagramアカウントや広報紙で紹介されるかも！



◀企画詳細は
こちらから



常陸大宮市の人口

(11月1日現在・推定常住者)

総人口 38,014人 世帯数 15,651世帯
(男 18,807人 女 19,207人)

広報 常陸大宮 11月 第218号

発行日 令和4年11月25日

発行/常陸大宮市 編集/企画政策課

〒319-2292 茨城県常陸大宮市中富町3135-6

TEL 0295(52)1111 FAX 0295(53)6010

E-mail kouhou@city.hitachiomiya.lg.jp

URL https://www.city.hitachiomiya.lg.jp/



再生紙と植物油インクを
使用しています。